



dafaaaum aaaakfb dafb batsb aab baadapab aadar aab aab
 ダフアアアウム(花名)は、幾らかの大桶で見栄を張り競う。
 豊かな国では全て集めて深く置くことだけが全てである。 (いつもの枕詞の花言葉)

aadaqaatb aadaum aadaumb qdaraab aabqtb aadafb badaqand
 幾らか自立的な国の所有家は、所有家の人と狭い農地が全てだった。
 全て小さい国で幾らかの争いの傍で成立した。

daumaatb aadaqaadaum aatb qttb nadaqttb aadaqttb aadaqkb
 家に人が増え幾らか自立的な家にも人が増えた。
 小さくない国で統治の無い国でも、幾らかの統治の国でも、幾らかは自立地域であった。

nadafaadar aadar aadaqdar aaqdar aab daqar aasb
 一時的な農地は、所有農地で幾らか自立農地だったが、幾らかの狭い農地が全てだった。
 自立地はアア国となった。

aadaaadar aada aadasaumb sand
他の幾らかの農地は、他との幾らかの出入りの国民の国土であった。

bqaadasb saatb qttb sand b
ブクアアダ国は様々な国で、小さく無い国の国土と人だった。

badaqaadaum dafaadar aadaqb saum
自立的な家に沿って長期の農地があり、幾らか支配の指導者だった。

kaadaum aadab aadaqb aattqadasb
後に所有家の外人は幾らか支配され、クワダ国に組み入れられた。

faadaqb qaadaum badaum aadafaat bfaadaum
良い支配は小さな所有家には軒並みで、幾らか長期の国では良い家だった。

bfaadar dafaab aadaqbfbatb r daqand
新しい農地にも長期的に幾らか自立し、新しく変化し、周りも成立した。

babqaattb sand fadaum aadar aadaqdar
領土の小さくない国の国土は、遠い家と幾らかの農地で、幾らかは自立農地だった。

baaada qaatb nadaqdaqaab
傍の他の小さな国は、無自立だが自立的であった。

daqaab aadaqaat daqaaum
自立的な人は幾らか自立的に沢山になり、小さな希望となった。

kaadaum aadafdaum nadafaab
後に所有家は幾らか豊かな家となったが、長期ではなかった。

faadafaadaum aadaum fab
良くて長期の所有家は遠い人だった。

nadafaab aadasb fadar aatb qaadarz
長期ではないアアダ国は遠い農地に人が増え狭い土地になった。

aadaqttb nadaqaattb kaatb sand sb
幾らか統治の国は、自立せずに国を加えた。後に人が増え国土は国になった。

bada aadaqaab qaadaar
悪く幾らか自立的な人は狭く小さい土地だった。

kdafdasad
後に豊かな出入りの指導があった。

dafaatb qtdaum sand
長期の国は小さくない家と国土だった。